
チョコレート

夕焼け

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チョコレート

【Nコード】

N4643E

【作者名】

夕焼け

【あらすじ】

「悪魔と踊ろう」なんてキャッチフレーズのゲームが昔あったね。まあそんなようなものだよ。あんな風にスタイリッシュなステップは踏めないけどね。

ものを書いてると自分がどういう人間なのか、よく分からなくなる。

粗暴で傲慢な人間について書いてる時は、粗暴な気持ちになるし、陽気でゆるい人間について書いてる時は、陽気な気持ちになる。

女の子の視点から書いてる時なんて乙女心全開だし、老人について書くとき妙に年老いた気持ちになる。

その時々、着手してるお話の有り様で、僕の有り様も180度変わる。

誰かが不意に呟いた「解し難い哀れな化け物」という表現が僕に向けられたものなのかそうじゃないのか、それはまあどっちでもいいとして、

ただその表現は「僕にも」実際当てはまると思う。

柔らかいお話を書いてる時はあたかも温厚な人間のような振る舞いをし、殺伐としたお話を書いてる時は、あたかも暴君のような振る舞いをする。

いや、逆かもしれない。

温和な気分の時だからこそ、そういう話を書こうと思うのかもしれない。

気持ち荒んでる時だからこそ、そういうお話を書いちゃうのかもしれない。

どちらにせよこの豹変はあまり人に受けいれられる種類の特異性ではないし、

こんな人間に不信感や不快感を抱くのは至極当然の事だ。

防衛本能。

人にはそれが備わっている。

僕のそのような豹変は、警告の鐘を打ち鳴らすに十分値するんだろう。

振り子のように揺れる。

右と左。

右は、天使。

左は、悪魔。

どちらかに大きく傾けば、しかる後に、同じだけ逆に振れる。

その揺れ幅が大きいほど、

そこから紡ぐ「奇妙なお話」は人の心を捉える。

そう。

楽園。

僕は楽園について書く。

僕がお話の中で描くような「優しい人間」はそう多く実在しない。そんな特殊な優しさを有した人間が集まる楽園。

それを書きたい衝動がある。
昔から。

同時に、それを書けば書くほど、現実を痛感する。

悲劇。

悲劇は起こる。

そしてその悲劇の多くは人の手によってもたらされる。

人は争う。

戦争。

自分以外の何かを敵に仕立て上げ、渾身のちからで打ちのめす。

あるのは正義でも悪でもない。

お互いの都合。

ただそれだけ。

そういった種類の暴力性は戦場に留まらず、至る所に溢れている。

そしてそんな暴力性を有した人間が「戦争反対」などと声をあげても戦争が無くなるはずは無い。

自分の中にも感じる。

そういった種類の、肯定のしようがない、100%の悪意を。

勝ちたい

打ち倒す事で栄光を

叩きのめす事で賞賛を

途方も無いほどの賛美の声を

勝って、勝って、勝って、
そうする事で己の正しさの証明を

得たい。

誰かを叩きのめす事で。

あるいはもっと純然たる暴力性。

そう、狂気。

世の中を知り、それについて筋道立てて定義すればするほど、
世に、そして自分のうちに潜むその狂気の大きさを痛感する。

僕ははっきり言って、これらの狂気に、
ある種の美しさを感じている。

普段目にするこのない、
でも案外ありふれた、

透過度0の薄い膜を隔てた、そのすぐ向こう側にある狂気。

人だ。

これが人だ。

感情。

それを書きたいだなんて考えてしまう。

あらゆる形で。

怪物。

そう、怪物だ。

僕は怪物。

きっとあなたも別の怪物。

でも愛するよ。

僕はその魔物を。

この薄汚い手をあなたは払いのけるだろうけど。

この歌声とも呼べない耳障りな奇声にあなたは耳を塞ぐだろうけど。

でもそれをするよ。

この身の醜悪さの檻から、死ぬ事でしか僕は逃れられない。

その事をあなたも知ってるでしょう？

僕はこの醜悪で下劣な怪物として生きるよ。

手を差し出したならチョコレートをあげるよ。

大丈夫。

見た目ほど濁った味をしてない。

天使と悪魔、実は同一人物だったんだ。

僕にはそういうお話しか書けない。

楽園なんてないよ。

多分ね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4643e/>

チョコレート

2010年10月17日02時02分発行